

# 大気浮遊じんの放射能濃度測定結果

問合せ 生活環境課 ☎24-5231

ちりやほこりに付着した放射性物質の飛散状況を調べるため、市内10地点で収集した大気1m<sup>3</sup>あたりの放射性物質の濃度を測定しました。

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		8/28-9/4	9/4-9/11	
小高区	川房公会堂 (川房)	セシウム134	0.023	不検出
		セシウム137	0.290	0.270
	金房小学校 (飯崎)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.120	0.110
	塚原公会堂 (塚原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.130	0.048
原町区	横川ダム (馬場)	セシウム134	0.033	0.026
		セシウム137	0.440	0.380
	原町保健センター (小川町)	セシウム134	0.016	不検出
		セシウム137	0.085	0.069
	高平生涯学習センター (下高平)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.088	0.053
	市立総合病院 (高見町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.088	0.064
	大原公会堂 (大原)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.130	0.082

測定地点		放射能濃度 (mBq/m <sup>3</sup> )		
		8/28-9/4	9/4-9/11	
鹿島区	鹿島区役所 (西町)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.042	0.044
	鹿島区3-3消防屯所 (南海老)	セシウム134	不検出	不検出
		セシウム137	0.037	0.022

※検出限界値はおおむね0.02~0.03mBq/m<sup>3</sup>の範囲にありますが、測定サンプル毎に変動します。そのため、データの記載がない日は、放射能濃度が検出限界値未満の値であり「放射能不検出」と判定されます。

● 渡邊正己京都大学名誉教授  
(市放射線健康対策委員会委員長)による解説●

第117回目  
大気浮遊じん放射能測定結果の解説  
(2019年8月28日～2019年9月11日)

今回も大気浮遊じんのセシウム137濃度の平均値は0.13 mBq/m<sup>3</sup>と低い値で健康影響の心配はありません。といっても本当に危険はないだろうか？という思いが皆様の頭をよぎるのではないですか？一般的にいまままでに自分が経験したことがない緊急事態から身を守るためには、自分が置かれている状況を正しく把握できる能力と、その危機に対して取るべき行動をとれる決断力を持つことが重要です。そのために、科学的な知識(勉強すること)を増やすとともに、それに基づいて矛盾を生まない思考を身につける(推測すること)ようにしましょう。